

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2014-12659(P2014-12659A)

【公開日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-114288(P2013-114288)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/765 (2006.01)

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/765

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 35/78 X

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 21/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月13日(2016.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロシアニジン構造と、カテキン類の B 環同士が結合した構造を部分構造中に少なくとも含み、数平均分子量が 9 0 0 0 ~ 1 8 0 0 0 である高分子ポリフェノールを含有する発酵茶抽出物を有効成分とするミオスタチン / S m a d シグナル阻害剤。

【請求項 2】

発酵茶抽出物中の高分子ポリフェノールとカフェインとの質量比率が 1 5 : 2 以上である、請求項 1 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害剤。

【請求項 3】

発酵茶抽出物が、発酵茶葉の水溶出液と親水性ビニルポリマーを材質とする吸着剤を混合した後、吸着剤の非吸着成分を除去してから、水を含んでいてもよいエタノールを用いて吸着剤の吸着成分を溶出させることにより得られる請求項 1 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害剤。

【請求項 4】

水を含んでいてもよいエタノールがエタノール濃度 4 0 % 以上の含水エタノールである請求項 3 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害剤。

【請求項 5】

プロシアニジン構造と、カテキン類の B 環同士が結合した構造を部分構造中に少なくとも含み、数平均分子量が 9 0 0 0 ~ 1 8 0 0 0 である高分子ポリフェノールを含有する発酵茶抽出物を有効成分とするミオスタチン / S m a d シグナル阻害用食品又は食品組成物

。

【請求項 6】

発酵茶抽出物中の高分子ポリフェノールとカフェインとの質量比率が 15 : 2 以上である、請求項 5 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害用食品又は食品組成物。

【請求項 7】

発酵茶抽出物が、発酵茶葉の水溶出液と親水性ビニルポリマーを材質とする吸着剤を混合した後、吸着剤の非吸着成分を除去してから、水を含んでいてもよいエタノールを用いて吸着剤の吸着成分を溶出させることにより得られる請求項 5 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害用食品又は食品組成物。

【請求項 8】

水を含んでいてもよいエタノールがエタノール濃度 40 % 以上の含水エタノールである請求項 7 記載のミオスタチン / S m a d シグナル阻害用食品又は食品組成物。